

# 事務事業評価シート

(平成 25 年度実施事業)

事務事業名	全国高校生短歌大会事業			事業コード	2393
所属コード	132000	課等名	観光課	係名	観光推進担当
課長名	小笠原 千春	担当者名	村上 麻衣子	内線番号	3725
評価分類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 公の施設 <input type="checkbox"/> 大規模公共事業 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理				

## 1 事務事業の基本情報

### (1) 概要

総合計画 体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード	5
	施策	地域資源をいかした観光・物産の振興	コード	4
	基本事業	観光交流の推進	コード	2
予算費目名	一般会計 7 款 1 項 3 目 まつり・イベント振興事業 (004-01)			
特記事項				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	開始年度	18 年度	
根拠法令等				

### (2) 事務事業の概要

盛岡で生まれ育った歌人・石川啄木を顕彰するとともに、啄木が生まれ育った盛岡市にふさわしい、若い世代の短歌づくりを振興するため、全国の高校生を対象とした短歌大会を開催する。

### (3) この事務事業を開始したきっかけ（いつ頃どんな経緯で開始されたのか）

平成 18 年に、石川啄木生誕 120 年・宮沢賢治生誕 110 年を記念し「啄木賢治生誕記念事業」が実施され、当事業はその中の一つとして開始された。

### (4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

平成 25 年度までに 8 回開催したことで全国的に認知されるようになり、参加校数は第 1 回の 17 校から第 8 回では約 3 倍の 48 校に増えた。北は北海道、南は福岡県と全国から応募があり全国的な広がりが見られる。

## 2 事務事業の実施状況 (Do)

### (1) 対象（誰が、何が対象か）

全国の高校生

(2) 対象指標（対象の大きさを示す指標）

指標項目	単位	23年度 実績	24年度 実績	25年度 計画	25年度 実績	26年度 見込み
A 全国の高校生	千人	3349	3356	3320	3320	3320
B						
C						

(3) 25年度に実施した主な活動・手順

全国の高校生を迎えて第8回大会を8月21日(水)～23日(金)に開催したほか、東日本大震災からの復興を応援する短歌を募集し、41校179首応募があったものを短歌集として編纂し、被災地である岩手・宮城・福島・茨城4県の沿岸市町村・沿岸市町村に所在する高等学校や岩手県内の高等学校に配布した。

(4) 活動指標（事務事業の活動量を示す指標）

指標項目	単位	23年度 実績	24年度 実績	25年度 計画	25年度 実績	26年度 目標値
A 応募チーム校数	校	42	51	50	48	50
B 応募チーム数	組	66	68	70	61	70
C						

(5) 意図（対象をどのように変えるのか）

短歌に親しみ、石川啄木を育んだ盛岡の風土に興味を持つ。

(6) 成果指標（意図の達成度を示す指標）

指標項目	性格	単位	23年度 実績	24年度 実績	25年度 計画	25年度 実績	26年度 目標値
A 観光客入込客数	<input checked="" type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持	万人回	466	471	480	472	490
B	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持						
C	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持						

## (7) 事業費

項目	財源内訳	単位	23年度実績	24年度実績	25年度計画	25年度実績
事業費	①国	千円	0	0	0	0
	②県	千円	0	0	0	0
	③地方債	千円	0	0	0	0
	④一般財源	千円	4,500	4,500	4,500	4,500
	⑤その他(地元企業協賛金)	千円	1,500	1,500	1,500	1,800
	A 小計 ①～⑤	千円	6,000	6,000	6,000	6,300
人件費	⑥延べ業務時間数	時間	400	400	400	400
	B 職員人件費 ⑥×4,000円	千円	1,600	1,600	1,600	1,600
計	トータルコスト A+B	千円	7,600	7,600	7,600	7,900
備考						

## 3 事務事業の評価 (See) . . . . .

### (1) 必要性評価 (評価分類が「内部管理」の事務事業は記入不要)

#### ① 施策体系との整合性

全国の高校生が盛岡を訪れ、盛岡の先人と文化について知識や関心を深めることにより、盛岡のイメージアップや将来的な観光客誘致につながる。

#### ② 市の関与の妥当性

盛岡の先人と文化振興及び盛岡の知名度向上は、市がやるべき主要な事業である。

#### ③ 対象の妥当性

事業の性質上、対象は全国の高校生であり、拡大または絞ることは考えられない。

#### ④ 廃止・休止の影響

当事業により多数の高校生と引率者が来盛しており、また石川啄木を生んだ風土についても広く認知されている。事業の廃止はこれらの効果をなくしてしまうことにつながり、観光客の誘致にマイナスとなる。

### (2) 有効性評価 (成果の向上余地)

事業について、より広く周知することで盛岡の知名度向上に資する。

### (3) 公平性評価 (評価分類が「内部管理」の事務事業は記入不要)

参加者は公募によっており、公平・公正である。

参加者は負担金を支払っており、公平・公正である。

### (4) 効率性評価

民間からの協賛金及び参加者の負担金を増額することにより市の負担金を減額する。

運営については市民団体に委託しているが、参加者から市に求める役割は多く、課員が少ない中で対応しており、業務時間数を削減することは難しい。

## 4 事務事業の改革案 (Plan) . . . . .

### (1) 改革改善の方向性

地元企業からの協賛金及び参加者の負担金を増額することにより市の負担金を減額する。

### (2) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

平成 23 年度は、予算枠の縮減により参加者からの負担金を増額したが、今後ますます参加者の負担が多くなると、参加校数が減となる懸念がある。

現在は市の負担金と、企業 1 社の協賛金により運営しているが、長期の継続は困難なことから、他にも多数の協賛事業者を募る必要がある。

大会に参加したことのあるOBやOGとの繋がりを深め、さまざまな意見を取り入れながらより魅力ある大会にするための一助とする。

## 5 課長意見 . . . . .

### (1) 今後の方向性

- 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
- 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
- 終了・廃止・休止

### (2) 全体総括・今後の改革改善の内容

現在は、市の負担金と企業協賛金を財源に運営されているが、長期の継続開催は困難なことから、安定財源の確保に向けて、多数の協賛事業者を募る必要がある。

また、大会に参加したOBやOGとの繋がりを深め、さまざまな意見を取り入れつつ、より魅力ある大会にするための方策について検討する必要がある。